校長室だより

令和６年（2024 年）
２月９日発行（No.20）
柏原市立堅上中学校
校 長　坂 本　篤 俊

学校診断アンケートより！

先日、保護者の皆様にご回答いただきました「学校教育診断アンケート」の集計と考察ができましたのでお知らせいたします。本年度は、保護者の皆さんからは２１家庭から回答をいただきました。ありがとうございました。

多くの項目で肯定的な回答が確認できました。具体的には、生徒：２２項目中１７項目、保護者：２２項目中２０項目でした。学校の取組みが生徒にも保護者にも一定理解されていると考えられます。今年度は５月に感染上の位置付けが５類になりました。保護者の皆様のご協力を頂きながら、感染防止を行い、できる限り実施できたことは今後、困難に遭遇したときの対応に繋がると信じたいと思います。部活動の活性化や地域の方々との交流・小学校との交流は９０％台でした。低い数字ではありませんが、改善できることを進めていきます。

【確かな学力の育成】

生徒のアンケート結果では、「先生方は分かりやすく楽しい授業をしてくれている」に100％の生徒が肯定的評価を示しています。大半の生徒に教員の思いや取組みが伝わっていると思われます。保護者の皆様の評価は、来校の機会が増え、参観や交流等の実施、実際に授業や活動を目にする機会が戻ってきたことが肯定的評価の増加に繋がっていると思われます。本校では少人数であることの利点を最大限活用して、様々なケースの生徒に対して、オンライン授業やリモート授業を徐々に始め一部実施しています。今後の学習につながるでしょう。話し合いや教え合い活動・実習等も行いました。ICT 機器を活用した活動の重要性は更に深めていて「学びを止(と)めない」取組みは今後ますます重視されるでしょう。また、今年度は以前の体験授業や行事の実施をしました（校外学習や職業体験等）。各クラス少人数を生かし、感染対策の適切な距離の確保はスムーズでした。幼小中連携行事も知恵を出し合ってほぼ行いました。子どもたちの感想文でも確認できました。様々な対応に教員と生徒が知恵を出し合った活動は、子どもたちにとっても今後の目標達成に向けていい経験となりました。

【幼小中一貫教育の充実】

生徒、保護者、教職員ともに幼小中一貫教育について、一定の理解はできています。このことは小･中学生の成長に有益であると考える保護者が100％であることから知ることができます。生徒・保護者のアンケートでは今年度の交流等の実施は肯定的な評価が高く出ました。３学年共、中学生としての（幼小中）一貫教育行事をあまり経験しておらず、手探り状態の生徒もいたのではないかと思います。今後、新しい環境で取り組む９年生、ビルドアップを目指す７・８年生ですが、それぞれの環境で、目的・目標を具体化して達成に向けて、今までに身に付けた基礎・基本を基盤として、体験を大切にした学習を進めていかなければなりません。

時代は進んでいます。これから、生徒たちの卒業や入学に加え、教職員の異動等も含め、様々な変化が起きます。今は、その変化等に対応できる人間が求められています。今まで大切にしてきたことは継続し、新しいことを取り入れる柔軟な思考力を兼ね備えた集団を目指します。一貫教育や少人数指導に取り組むことから、「主体的・対話的で深い学びの実現」に大きく繋がることを信じて取り組んでいきます。

【豊かな心の育成】

この目標に関しては、生徒アンケート２２項目のうち７項目、保護者アンケートでは８項目尋ねています。回答結果をこの３年間で比較してみると、最も良い結果でした。検討した取組みもありますが、道徳学習・人権学習等は修学旅行等の学校行事でもふれることが出来ました。道徳教育は、ほぼ毎週読み物資料を用意し、学校内で共通なもので行えました。肯定的評価が100％であることは、日常的な粘り強い教育活動が評価されていると思われます。ただ、一番多感な時期である中学生時代の様々な体験に大人の適切な働きかけを加えることで、豊かな心の育成につなげ、日々の様々な交流活動に活かされると信じます。

なお、まだ生徒指導上の課題はありますので、変化を見逃さないよう常にアンテナを高く掲げ、保護者の皆様や地域の方々とさまざまな活動を通して丁寧で粘り強い指導を心がけて、生徒たちの人間的な成長につなげていきたいと思います。

また、学校診断アンケートの回答状況は学校ホームページでも公開させて頂きます。

※今年度も感染防止対策を実施の上、学校の教育活動はほぼ行うことが出来ました。３者のアンケート結果も肯定的な評価が高く出ました。これは、新型コロナウイルスの対応を様々な研究機関から策を示して頂けたからであり、感謝するところです。本校は少人数クラスのため距離の確保や給食時の対応（ランチＲと教室の併用）もスムーズでした。プール指導についても特に問題なく行えました。

このような状況下でも、様々な授業や行事（学校内外）の実施に知恵を出し工夫して行ったことは、今後、予測できない事態が起こったときの対応に活かされると信じます。皆様の協力と理解を受けての取り組みは、財産になるでしょう。今後も「信頼される学校づくり」を更に推進してまいります。子どもたちが生き生きと過ごし、卒業後の未来へと歩み出せるよう、一層努力してまいります。

《成果と課題》

【生徒】

◇「3:毎日楽しく学校生活を送れている(89%)」：昨年度も同じ89%でした。アンケートには否定的な回答はありませんでしたが、配慮を要する生徒もいるので、今後も、生徒に寄り添い、「学校はシンドイこともあるけど、全体としては楽しい」と思える場所を目標に、教職員全体で生徒一人ひとりを丁寧に見守り教育活動に取り組んでいきます。

◇「8:先生は間違った行動には厳しく対応し、きちんと規律を守らせている(96%)」（昨年度は95%）「10:先生は分かりやすく楽しい授業をしてくれる(100%)」（昨年度89%）：数字的には良い結果でしたが、個々に寄り添った対応が求められます。他の項目でも数字的にも昨年度と比較して、80%を超える項目が多いですが、そのどれもがこれまで本校が大切にしてきたことなので大変良いかと思います。その中から学校の根幹をなす「生徒指導」「学習指導」に関する2項目について述べます。

学校では絶えずさまざまなことが起こります。時には問題行動も起き、その解決のためは全校生徒に我慢を強いることもあります。ただ、この結果を見る限り、ほとんどの生徒が本校の生徒指導について理解し納得してくれていると読み取れます。これは大変稀有なことです。教員と生徒の間にシッカリとした信頼がなければ成り立たちません。今後も基本的生活習慣の上に正義が当たり前のように通る、安心して過ごせる学校を目標に努力を重ねます。

また、授業に関して、5類になったことで、意見交換をする場面や協同協力して共通の目的を達成する機会を増やしました。生徒の満足感も向上していると捉えられます。今後、自己肯定感や自己有用感、満足感を感じられる教育活動を進め、更にICT機器の効果的な活用を発展させ、自ら進路決定が出来る生徒の育成に取り組みます。

【保護者】

全般的に昨年度より肯定的な評価が増え、80%を超える項目が20項目（昨年度18項目）にのぼり、ほとんどの項目で昨年度より肯定的評価は増加しました。これは、過去2＋1年間コロナ禍のために授業形態や保護者等の参観状況、校内外の学校行事等の実施や参加体制が大きく関係しているものと考えられます。今年度は、保護者の方々の来校の機会もほぼ戻り、生徒たちの取組みを参観して頂けたことや、幼小中の合同授業や行事を実施できたことが大きいと考えられます。しかし、活動の状況としてはコロナ禍前に全てが戻ったわけではありません。子どもたちは、幼小中それぞれの年代で学びやコミュニケーション力を高めて体験することで成長してきます。この体験はコロナ禍であっても変わりません。生徒たちの様子の一コマとして、授業中の話合い活動や委員会活動（班活動や縦割り活動等）では自分の考えを自分の言葉で相手に伝えること、相手の考えと自分の考えを融合して発展させる体験は、今後も機会を設けて取り組んでまいります。また、80%未満の項目数は昨年度より減りましたが、生徒の成長に大切なことです。部活動や生徒会の活性化は、生徒たちの自主活動の機会としては大切に行いたいと思います。しかし、本校は柏原市内全域から通学していることで、帰宅する時間や休日の登下校の安全を考慮したとき、活動時間の確保は検討課題です。指導者の働き方改革においての従事時間も大切です。参加者が目的目標を共有し、取り組み内容の精選と効率化を進めて、与えられた環境での取組み方を生徒と共に高めてくことが出来ればと考えます。そして、堅上小学校との交流や保護者や地域の方々との交流は、昨年度よりは増えていますが、きめ細かな活動や対応を目指す上でも更に改善していきます。

幼小中一貫教育を推進している学校としては、コロナ禍以前の取組みの90%以上に戻ったかと思います。幼小中の学校行事はほぼ出来ました。ＰＴＡ・地域行事もいい方向に進めばと思います。また、幼小中の教職員の交流も増え、幼小中学校園に関わる教職員全員で子どもたちを育む共通理解を深める研修も活発です。情報の共有についても、様々なたよりや通信、はなまる連絡帳での一斉配信等をしています。そして、タブレットを使ったＩＣＴ教育の充実については、小中での参観等を通じて、子どもたちの集中している姿を確認して頂けたかと思います。タブレットの活用した学習や情報収集は今後も深めていき、社会に出る頃には文房具の一部のようなものになるでしょう。これからも子どもたちの視線の先には明るい未来が写り、様々な課題も自ら考えて、周囲と協力して、対応できるように育んでまいりたいと思います。

【教員】

教職員数は生徒、保護者と人数の違いより今年度の１名の重みは12ptとなります。そのため今年度は「90%～99%」はありません。ご理解願います。また、設問は基本的に学校全体の教育活動を評価する内容ですので、回答者自身を含めて学校全体としてどうだったかと回答を求めています。２５項目のうち肯定的評価が２１項目、そのうち100%が１７項目という結果で、例年同様、生徒、保護者と比較して肯定的評価が多いです。、生徒、保護者の思いと乖離していないか心配ですが、教職員は（先のことを考え、変容を見据えることで）良かれとの思いで教育活動を行っている当事者なので、自己評価が高くなるのはある程度想定の範囲内であると考えられます。高い目標を掲げ、思いを持って生徒に対峙している。本校の特認生徒が約７７%（23/30）に達している現在、学校での活動の更なる充実が求められます。教員一人ひとりのビジョンを高く幅の広いものとすることで、生徒個々の成長に繋げて、学年学校全体に広げて欲しいと考えます。その上で、他の人からの評価、意見も踏まえて客観的に自分自身を謙虚に振り返り、必要に応じてブラッシュアップしていくことで学校全体の教育活動に貢献して欲しいと思っています。

●主な学校行事等について（2月9日現在）

※急な変更があるかもしれません。その場合は、その都度お知らせします。

- 大阪私学入試…2月10日（土）、11日（日）・学校集会…2月13日（火）
- 公立特別選抜出願…2月14日（火）～15日（水）
- 堅上中学校令和６年度新入生保護者説明会…2月16日（金）於　会議室
- 生徒議会…16日（金）・生徒集会…19日（月）・7，8年学年末テスト一週間前…2月19日（月）
- 公立特別選抜学力検査…2月20日（火）、実技面接検査…2月21日（水）　発表…2月29日（木）
- 7，8年学年末テスト…2月26日（月）～28日（水）※7，8年の26日、27日の給食はありません。
- 9年進路懇談会…2月27日（火）～29日（木）
- 学校集会…3月4日（月）・卒業生を送る会…3月5日（火）
- 公立一般選抜出願…3月4日（月）～6日（水）
- 卒業式予行…3月7日（木）・専門委員会…3月8日（金）・公立一般選抜学力検査…3月11日（月）
- 卒業式…3月13日（水）
- 給食最終日、生徒議会…3月15日（金）
- 公立一般選抜学力検査発表…3月19日（火）
- 修了式、学校集会、机移動、大掃除…3月22日（金）

※進路関係の情報は、最新のものを確認しましょう。

◇学年が中心的に行う行事については、学年から周知させて頂きます。

- 令和6年度堅上中学校入学式…4月５日（金）
- １学期始業式…４月８日（月）
- 離任式…４月９日（火）